

東京教区パワーシフト・キャンペーン ニュースレター No.6

パワーシフト・キャンペーン継続！

教区会開会演説

アンケートへのご協力を
お願い致します！

東京教区パワーシフト・キャンペーンへのご理解とご賛同、まことにありがとうございます。本キャンペーンは、当初12月までとしていました。継続することにはなりますが、この時点で、各教会・礼拝堂での状況をお知らせいただきたく、アンケートを近々実施致します。パワーシフトを強要する意図はありません。それぞれの場所でも出された疑問や、意見などを分かち合うことができればと願うと共に、今後キャンペーンを進める上で、有益な情報をお届けするためにも、皆さまからのお声を頂戴したいと願うものです。皆さまのご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

ニュースレターアーカイブ
をぜひご覧ください！

礼拝休止期間中に出された、本キャンペーンのニュースレターをご覧いただけていない方もおられることと思います。過去に発行されたものは、東京教区HPトップページの右側の「東京教区パワーシフト・キャンペーン」のバナーから入っていただくことができます。QRコードからもどうぞ！



11月23日、東京教区教区会での高橋宏幸主教による開会演説にて、本キャンペーンについて触れられた箇所を以下に掲載致します。あらためて、本キャンペーンの意義や目的を皆さんと分かち合います。

『日本聖公会は脱原発と自然エネルギーへの転換を目指すこと、被造物の本来の姿を守り、地球の生命の維持・再生へのたゆまぬ努力を意識し、決意を確かめ合う決議を総会で致しました。東京教区でも、このことをテーマとした礼拝を捧げ、取り組みをより一層進めるべく、宣教主事を窓口外部団体とも話し合いを始めています。今後も各教会へのご案内や働きかけがなされることになっています。共にこの重要課題に取り組んで参りましょう。その一つとして「パワーシフトキャンペーン」がありますが、これは「電力会社変更キャンペーン」ではなしに、自然環境を考えるきっかけとしてのものです。その他、貧困や食の問題を取り上げた講演会なども行われ始めています。これらは、「いのち」とどう向き合い、支え合うかというキリスト教信仰の要、霊性の要に繋がるものです。今後も私たちの信仰、聖霊を育む上でも大切に続けてまいります。』

この箇所は「—いのちを支え合い、仕え合い、尊び合う—」という項目の中で語られています。演説の前後の内容と併せてお読みいただき、今一度本キャンペーンを通して、「いのち」とどう向き合い、支え合うかというキリスト教信仰の要、霊性の要」へと歩んでまいりましょう！

◆と、いうことで、キャンペーンを継続します！◆

この主教の演説を受け、さらにはいくつかの教会から、ようやく礼拝再開し、本キャンペーンへの取り組みや話し合いが始まったというご報告をいただきましたので、当初12月までとしていた本キャンペーンを来年6月まで継続します。それぞれの教会・礼拝堂での取り組みをあらためてお願い致します。また、教会でのパワーシフトが難しい場合であっても、各家庭でできること、それぞれでできることはないか、学び、問い掛け合い、語り合っていただきますようお願い致します。

◆生活の中で「できること」をこれから紹介していきます◆

普段できることって何？というご質問をいただきました。どの電力会社さんも、まずは「省エネ」を！と言います。まずは生活の中での省エネを心がけましょう！他にも…あるお蕎麦屋さんでは、これまで捨てていた蕎麦の切れ端を活用し、新メニューを開発、フードロス減らす取り組みをしていました。アイデアひとつで、日常の中でできることが沢山ありそう。次号から具体的な「できること」をご紹介します。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

